

訂正とお詫び

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
(編集部)

■ 2006年10月号

● 特集

p.106 左↑3行目：ファンに電源が→
ファンのセンサ出力に電源が

p.123 右↑3行目： $f_C = \frac{1}{2\pi L_O C_O}$

→ $f_C = \frac{1}{2\pi \sqrt{L_O C_O}}$

p.125 図1： C_1, C_3 は電解コンデンサ

p.140 図1：直流リアクトル P006-126
(LC20 AM-1.2 M42 A)→直流リアクトル
P006-126(ポニー電機)

p.140 図1：直流リアクトル PK006-127
(LC20 AM-1.4 M34 A)→交流リアクトル
P006-127(ポニー電機)

p.140 図1： $S_v \rightarrow S_w$

p.140 図1： $S_y \rightarrow S_z$

p.141 図3：上側のGT60J322のダイオードの向きが逆

p.141 図3キャプション：(表記のない部品は図1と同じ)を削除

p.143 図2, 図3(b)キャプション, 図5：フル・ブリッジ・インバータ→極性切り替えインバータ

p.144 図1：補助コンデンサ～コン)×
3→補助コンデンサ～コン)×4

p.148 表1： $I^*_{peak} \rightarrow \dot{I}^*_{peak}$

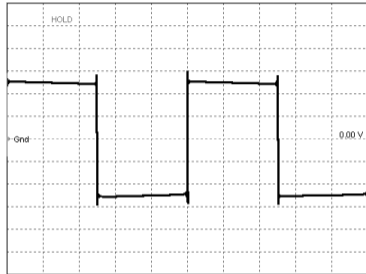
● サウンド・カードのアナログ性能

p.166 右↑5行目：リングング→リングング(ギブス現象)

p.166 図5(c)：右上の図が正しい

p.167 左↑4行目：影響を与えます→
大きく影響します

● 小型モータの選定と制御技術



p.200 左↓12行目：図3-1→図3-2

● 自然エネルギー

p.210 左↓5行目：×印→黒線

● SPICE 講座

p.228 右↓3行目：実際に試作し～ました→帯域幅 10 MHz では雑音電圧が 99.747 μV_{RMS} になります